

平成23年度研究科横断型教育プログラム(Bタイプ)授業科目

テーマ	歴史	研究科名	生存圏研究所	横断区分	文理横断型	開講場所	宇治総合研究実験棟2階 生存圏研究所小会議室 S-253	
授業科目名	木と文化			講義担当者 所属・氏名	生存圏研究所 矢野浩之、川井秀一、杉山淳司、 小松幸平、北守顕久 (担当者変更の可能性あり)			
配当 学年	修士 博士後期 専門職	コマ 数	5 コマ	開講 時期	7月11日(月)～15日(金) 16時半～18時		授業形態	講義
〔授業の概要・目的〕								
<p>人間は、古くから木材を利用してきた。特に、森林資源に恵まれた日本は、建造物などの文化財で独特な“木の文化”を築いている。本授業では、遺跡、文化財、建築や楽器における木材利用について、木材科学の立場から講述する。</p> <p>【研究科横断型教育の概要・目的】 再生可能な資源である木材は、これからの持続型社会を支える、古くて新しい素材である。本講義では、“温故知新”の観点に立ち、人間と木材の歴史的関わり、そこで培われた知恵を理解し、これからの材料の在り方について広い観点から考えられる大学院生を養成する。</p>								
〔授業計画と内容〕								
<ul style="list-style-type: none"> <li>第1回：「木材に刻まれた時間や歴史を考える」（杉山淳司）</li> <li>第2回：「木の寿命を考える」（川井秀一）</li> <li>第3回：「木造建築—その多様な形態—」（小松幸平）</li> <li>第4回：「伝統建築にみる木組のメカニズム」（北守顕久）</li> <li>第5回：「楽器と木材」（矢野浩之）</li> </ul>								
〔履修要件〕								
特になし								
〔修了証授与の要件〕								
全回出席、授業への積極的な参加と、レポートの総合評価により修了証を授与する。								
〔教科書〕								
特になし								
〔参考書等〕								
特になし								
〔その他(授業外学習の指示・オフィスアワー等)〕								
特になし								